

優秀賞

国家経営ゲーム

白川 峻匡 (大学2年生：神奈川県)

近年、アメリカのトランプ政権誕生やイギリスのEU 脱退等、世界での協調外交から一転し自国第一主義で保護主義的な外交を唱える国が増加している。しかし、自国第一主義は他国との軋轢をうんでしまったり、貴重な資源の浪費による未来への負担をしいてしまうなどの問題がある。

しかし、我々はこれらの問題について当事者意識を持って考えることができているように思える。そこで私は、人々に当事者意識を持ってもらえる外交戦略ゲームを提案したい。

このゲームの具体的内容として、まず始めにプレイヤーは一つの国の統治者になる。次にプレイヤーは自分の統治する国を豊かにするために水資源、鉱物資源、水産資源などの資源を消費していく。但し、この世界の資源の限界量はその資源ごとに決まっており、それをオーバーするとその資源を一番多く使用していたプレイヤーは失格となる。そして、最終的に資源多く消費し自国を最も発達させたプレイヤー、またはゲーム終了時まで国家を存続させていたプレイヤー全員を勝者とする。

このゲームの最大の特徴としてプレイヤー同士の駆け引きがある。もし、自国のみを富ませようとして資源を大量に使えば他プレイヤーによって資源限界量の一番の消費国として他のプレイヤー達によって失格させられてしまう。なので、プレイヤーはお互いに話し合いや取引を行いプレイヤー全員の満足する資源量で成長していかなくてはならない。

私は、このゲームを通じて自国第一主義を行うのがいかに難しいのかという事を人々に知ってもらいたい。そして、世界各国がいがみ合うよりも各国で協力していった方がこれからの世界をよりよくしていくことができるという考えの一助にこのゲームがなって欲しいと思う。